

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	雇用対策事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	商工労政係						
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		4 雇用対策・勤労者福祉を充実する									
		副目的														
	予算区分	款	5		項	1		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	70 %			委託	20 %			助成	10 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者に対して雇用の安定と福祉の向上を図る。 求職者・求人者に対して就業の促進を図る。 														
	内容 (手段)	<p>(平成23年度実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新卒就職者激励会委託料 小牧市雇用対策協議会に委託し、市内事業所に就職した学卒者を対象に新卒就職者激励会を行った。604,332円 ふるさとハローワーク管理業務 労働局と共同で名鉄小牧駅ビル内に「小牧市ふるさとハローワーク」を開設し、ハローワークと同様に、愛知県内の求人情報を端末機で検索できるほか、相談員による職業相談、職業紹介の業務を行った。 求職者支援セミナーの開催 失業者(求職者)を対象に、履歴書の書き方など、求職活動に役立つ内容の講座を6回開催した。 <p>【その他直接経費の内訳】 講師謝礼(90,000円)、雇用対策協議会委員謝礼(23,100円)、普通旅費(3,840円)、消耗品費(74,386円)、印刷製本費(20,400円)、通信運搬費(187,273円)、事務機器借上料(110,880円)、地域職業相談室借上料(1,622,124円)、愛知県雇用開発協会負担金(50,000円)、地域職業相談室電気料金負担金(260,961円)</p> <p>(平成24年度実施内容) 平成23年度と同様の内容で実施</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,719	3,267	3,048	3,496	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.15
			人件費	千円	531	531	531	797
		その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	1,708	1,457	1,506	1,705
		費用合計	千円	4,958	5,255	5,085	5,998	
	対前年比	%		105.9	96.7	117.9		
財源	一般財源	千円	4,958	5,255	5,085	5,998		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	求人・求職相談件数	件	目標		3,000	25,000	25,000
実績				19,993	23,634	26,330	
新卒就職者激励会参加者人数	人	目標		250	250	250	250
		実績		263	212	153	178
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
就職件数	人	目標		—	—	—	—
		実績		392	499	524	
新卒就職者激励会参加者人数	人	目標		250	250	250	250
		実績		263	212	153	178

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては現在の雇用情勢を反映し、求職者は減る気配がなく、求人・求職相談件数は目標を超え、多くの相談に対応することができた。また、就職件数も昨年度より増加した。 ・新卒就職者激励会の参加人数は年々減少傾向にある。 				
		事業実施における課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークの業務については景気の動向に左右される事業であるが、市民に対してふるさとハローワーク業務を理解していただき、より多くの市民に利用していただくようPRをする必要がある。 ・新卒就職者激励会のあり方について検討する必要がある。 				
		事業を縮小・廃止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークには、ほぼ毎日100名が来所しているため廃止すると求職者は大きな影響を受ける。 ・新卒就職者激励会は、かつて地方から小牧へ就職してきた若者を激励し、小牧を知ってもらうために始まった事業であった。現在は若者の意識も変わってきており縮小・廃止しても影響はないと考える。 				
	今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td>方向性の判定</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>判定理由</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては目標を達成しているので事業を継続する。 ・新卒就職者激励会の昨今の状況から廃止を含め検討が必要。 </td> </tr> <tr> <td>改善案等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについてPR活動により利用率を上げる。 ・新卒就職者激励会のあり方について廃止を含め検討が必要。 </td> </tr> </table>	方向性の判定	縮小	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては目標を達成しているので事業を継続する。 ・新卒就職者激励会の昨今の状況から廃止を含め検討が必要。 	改善案等
方向性の判定	縮小						
判定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては目標を達成しているので事業を継続する。 ・新卒就職者激励会の昨今の状況から廃止を含め検討が必要。 						
改善案等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについてPR活動により利用率を上げる。 ・新卒就職者激励会のあり方について廃止を含め検討が必要。 						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	<p>平成20年のリーマンショック以降、世界的な経済不況による雇用の悪化が進む中、雇用対策、失業者対策は必要である。特に「ふるさとハローワーク」については、1日に100人以上の利用があることから、今後も継続する必要があるが、「新卒就職者激励会」については、当初の開催の趣旨と実情が合わなくなっていることから廃止とし、事業全体としては、縮小と判断する。</p> <p>また、「求職者支援セミナー」については、受講者数が少ないため、より雇用に結びつく内容のとするなど改善に努めるとともに、受講者の就業率等の調査を行い、効果が無い場合は、廃止を検討する必要がある。</p>